

高校教育に関する県民意識調査（原案）に対する県立高等学校将来構想審議会委員からの御意見・御提案について

意見 番号	関連箇所		提案者	御意見・御提案の内容	案作成の考え方
	質問テーマ	一覧表の 設問No			
1	高校生の在籍学科	6	佐藤委員	○学科の在籍に関する設問について 学科の説明が必要ではないか？（後ページの「これからの県立 高校教育」の説明にはあるのですが、このNo6の項目で説明し た方が良いのかと思います。）	現在、在籍している生徒さんと保護者の方への設問であり、す でに理解されていると考えます。
2	通学時間	8	高橋委員	交通手段により、時間の許容範囲が変わるのではないだろう か。例えば車で1時間と、自転車では1時間では許容範囲がち がってくるのではないだろうか。	通学に当たっては、地域において交通手段は異なると思いま すが、時間の要素が大きいかと考えます。
3	高校への進学希望 学科・課程	11	佐々木委 員	「高校に進学するとしたら、どの課程・学科に進学したいか」の 設問のところに、それぞれの課程・学科の注釈を入れた方が分 かりやすいと思います。（中学生とその保護者向けは特に必要 かと思えます。）	課程に関する注釈を加えます。
4			佐々木委 員	そして、なぜその課程・学科を選んだかが気になるどころです。 全日制普通科卒の生徒が就職するケースについて先日の会 議で話題になったこともあり、それを引き出す設問がほしいと思 います。	No7.10.11の設問をクロス分析することで対応可能と考えます。
5			早坂委員	新たな県立高校将来構想策定と高校生保護者向けの問11の 設問の関連がよく理解できない。当初の志望と今改めての進 学先の違いの有無は色々な要因から当然あるのではなからう か。要因も分析しないことには表面的な回答になってしまう危 険があるのではないだろうか。	要因分析については、アンケートの限界もあり、現状の設問と します。
6	学科	13	北島委員	区分が3つだけであるが、理数科や英語科などについて、どの ように考えたらよいだろうか？	専門学科を「農業科や工業科などの職業系専門学科」と「理数 科や英語科などの職業系以外の専門学科」に細分化します。
7	中高一貫教育	14	北島委員	「中高一貫教育」について 中高生向けにも、保護者向けと同様に説明(中高一貫教育の 区分)を入れてはいかかか考えます。	中高生を対象としなくても民意の把握は可能と考えます。
8			高橋委員	中高一貫等の特色ある学校の評価については、現に通学範囲 にある地域の者については、回答可能だが、他の地域の者にと っては、難しいと思う。また、「中高一貫教育校」等の文言の 説明が不十分ではないかと感じる。	中高一貫教育校自体の評価ではなく、中高一貫教育等の新 しい教育への県教委の「取組」について評価を求めている設問 であり、設問の内容でも解答は可能と考えます。
9	キャリア教育	15	尾崎委員	○キャリア教育の設問について [中2・高2]工業高校や商業高校、総合学科高校などでは授業 の中で実際にスーパーマーケットや部品を作る工場に行って就 業体験をしています。 ↓(実際の就業体験は、幅広いものであり上記に限定されるも のではない。) (案)[中2・高2]工業高校や商業高校、総合学科高校などで は、授業の中で就業体験や企業見学などの体験活動をしてい ます。	指摘のとおり修正します。
10			尾崎委員	○キャリア教育の設問について [中2・高2保護者、県民・指導教員]工業高校や商業高校、総 合学科高校などでは、豊かな勤労観・職業観を涵養するため、 インターンシップ(就業体験等)や…… ↓(現在専門高校で実施している「就業体験(現場実習)」は、学 習指導要領 第6款4(4)ア 職業に関する各教科・科目につ いては就業体験を持って実習に替えることができること。この場 合、就業体験は、その各教科・科目の内容に直接関係があり、 かつ、その一部としてあらかじめ計画されたものであること。」と なっている。こうしたことから、専門高校における就業体験の目 的は、勤労観、職業観の育成とは異なるものである。 (案)工業高校や商業高校、総合学科高校などでは、インター ンシップ(就業体験等)や職業情報の的確な提供などに取り組ん でいるところですが、豊かな勤労観・職業観を涵養するため、普 通科においても、同じように取り組んだ方がよいと思えますか。	指摘のとおり修正します。
11			早坂委員	就業体験学習は工業・商業高校だけでなく農業や水産関係高 校でも実施されているのでは。	専門高校を指すような表記に修正します。
12			早坂委員	中学校向けの問5に関して、高等専門学校のあとにカッコが書 きでも宮城工業高等専門学校(宮城高専)・仙台電波工業專 門学校(電波高専)とあればよりわかりやすいのでは	指摘のとおり注釈を加えます。
13	学校規模に関する意 識	17	白幡洋一 委員	学校規模のクラス数だけでなく、クラスの構成人員に関してもど のように認識しているか聞いてみたい。私としてはもう少し少人 数でのクラス編成のほうが良いと考えているのだが。	学級編成の基準は、公立高等学校の適正配置及び教職員定 数の標準等に関する法律を踏まえて原則40人で対応してい ます。
14	地域社会との連携	18	佐々木委 員	[保護者]、[県民向け]の問17の選択項目の内容が理解しにく いような気がします。例をあげるか、項目そのものの表現をも う少し詳しくできないでしょうか。	設問の表現を変更しました。 選択肢がわかりにくかったので整理し表現を修正します。

高校教育に関する県民意識調査（原案）に対する県立高等学校将来構想審議会委員からの御意見・御提案について

意見 番号	関連箇所		提案者	御意見・御提案の内容	案作成の考え方
	質問テーマ	一覧表の 設問No			
15			佐藤委員	○高校と地域の連携に関する設問について(選択肢案に重複するかもしれませんが) 注釈)質問しづらいかとは思いますが・・・ ※ここ数年にわたり、継続的に定員割れをしている学校に求められる「学校経営」について、必要と思われる具体的事項・事柄・内容とはどんなことが考えられるか?の意識調査はどうか・・・ (結局は、地域とのかかわり・・・等になるかもしれませんが)	定員割れには様々な事情があり、質問形式の調査で、その理由や対策を導き出すのは困難であると考えます。
16	魅力ある学校	19,20,21	阿部委員	新しいタイプの高校に対しての問いかけは、中高一貫教育校、総合学科高校、昼夜間開講型定時制高校に在学中又は関わる方が、そうではない方をふまえた上で、回答を求めるとよいのではないかと思った。	クロス分析により対応したいと考えます。
17	共学化	24	高橋委員	男女共学化については、本県の方針であり、進めてきた事項である。また、今後、その方針を変更する意欲がないとすれば、あえて設問とする必要はないと考える。	平成22年度までの方針の変更を前提とするものではないが、この取組の理解等をみるために、他の取組と併せて設定しました。
18	その他 (字句修正)		佐々木委員	[中学生向け]問11「1学年→」一学年」とした方がより分かりやすいのでは? (問15の設問の1行目後の方に「一学年6学級」とあります)	「一学年」で統一します。
19			佐々木委員	「ください」と「下さい」の両方があるのでどちらかに統一願います。	「ください」で統一します。
20	設問の追加提案		佐藤委員	高校の選択肢の少ない郡部・・・や交通網の整っていない地域からの仙台圏への入学を希望する場合、行政等に期待する、バックアップしてもらいたい項目について調査の必要性は? (例)通学経費軽減に関する「学割」の引き上げについてのバックアップ、公的な寮の確保または補助、通学バスの運行の整備等々の具体的調査	今回の調査は、高校教育の在り方に関する調査が目的であり、個別に異なる教育環境に起因するニーズの収集は調査の趣旨から外れると考えます。
21			白幡洋一委員	教師への期待度に対する評価。学校全体に対する評価だけでなく、教師が学生や父兄の期待に応えられているかどうかの把握も必要なのではないか。	個々の学校で評価を行っており、その集約でご指摘の点はカバーできると考えています。
22			白幡洋一委員	父兄、家庭の学校教育へのコミットメントの程度は如何なものか。学校にいろいろ要求する以前に、家庭は教育に対してその役割を果たしているのか。良い意味での教育への関わり具合を確認してみたい。	別に実施している調査で対応します。
23			白幡洋一委員	学生も、父兄も総体的に現状の学校生活に対する満足度をどのように認識しているのか。満足度は教育だけではないと思うが、如何なものか。	同上
24			佐々木委員	全体的に「なぜ、それを選んだのか」というもう一步ふみこんだ意見を引き出すものが少ないので、本音が見えないのではないかと思います。	選択式のアンケートでは、踏み込んだ分析には限界があり、現状の問いのままを基本としますが、意識の程度を問う現構想の評価に係る設問については、選択理由に関する自由記述欄を加えます。
25			佐藤委員	注釈)数が多く、まとめるのが難しいとは思われますが、・・・ ※設問に対しての選択肢案のある方の意見抽出をする必要はないか?・・・と考えました。 全員に書いていただくのではなく「具体的ご提案のある方はお書き下さい。」と注釈をつけるなどして何って?と思いました。特に、入試制度などに対して・・・	自由記述欄を新設します。
26			佐々木委員	最後に、ひとつ自由に記述してもらえように設けた方が良いのでは?	自由記述欄を新設します。
27			白幡洋一委員	書いていただけるかどうかは別にして、自由記述欄を設けたほうが良い。このコメントの中に意外と傾聴すべき情報が含まれていることが多いので。	自由記述欄を新設します。
28	その他		高橋委員	質問の文において、対象によりリード文を変え、理解しやすいように工夫されているが、再度、文言の整理により、分かりやすい文の作成をお願いしたい。	全体的に見直しました。
29			高橋委員	調査対象として、一般県民とあるが、関心を持たせ、問題意識を高める工夫をしなければ、回答の意味が半減すると思われる。	県民の回収率は、30%程度を見込んでいます。回答して下さる県民の方は、問題意識を持っていると考えられます。